

平成28年度使用教科用図書 調査研究報告書

《中学校用教科用図書》

国語	…	P.1
書写	…	P.4
社会	地理的分野	… P.9
	歴史的分野	… P.11
	公民的分野	… P.15
	地 図	… P.19
数学	…	P.20
理科	…	P.24
音楽	…	P.27
美術	…	P.28
保健体育	…	P.30
技術・家庭	技術分野	… P.32
	家庭分野	… P.35
外国語	英語	… P.37

教科名（国語）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 字体が手書き文字に最も近く、大きめで読みやすい。 ・ 新出漢字についてはページ番号に加え、行番号が付いている。 ・ 教科書の使い方の説明が詳しい。 ・ 中綴じがあり、古典教材の資料がカラーで掲載されており、生徒の興味をひきやすい。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学年の最初に「言葉」について考える教材が取り上げられている。 ・ 短い文章で基礎を学び、内容を考える教材につながるように配列されている。 ・ 「読む」「話す・聞く」「書く」「伝統・言語」の各領域がバランス良く取り上げられている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災に関する内容が資料と共に3年生で詳しく取り上げられている。 ・ 兵庫に関する教材はない。 ・ 文法学習が進めやすく、生徒が興味を持って学べるように工夫されている。カラーもわかりやすい。 ・ 古典の学習では、生徒の興味を引きつけやすい資料が中綴じで収められているなど、伝統的な言語文化に親しみやすい作りである。 ・ 学習指導要領にある国際理解や国際協調の精神を養うのに役立ち、ひょうご教育創造プランにある国際社会の平和や発展に貢献する力を養うための教材が各学年に取り上げられている。 			

発行者番号	1 1	発行者名	学校図書株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の字体が明朝体である。 ・ 新出漢字はページ毎にまとめられ、行番号もついている。小さい。 ・ 視覚に訴える写真や図表が少なく、文字が多い。生徒が興味を持ちにくい作りである。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料編がなく、取り上げられている教材数が多い。特に「読む」「伝統・言語」の分野が多く、読み物集のような感じがする。また、「話す・聞く」分野の教材は少なく、バランスに欠ける。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文法学習が最後にまとめられている。使いにくさを感じる。 ・ 図表やグラフが少なく、そこから推論するような教材が少ない。 ・ 兵庫に関係する作者や写真が取り上げられている。 ・ 防災に関する教材はない。 			

教科名（国語）

発行者番号	1 5	発行者名	株式会社 三省堂
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文の字体は明朝体である。 新出漢字はページ下と文章末にまとめられている。 本文の字は小さい。 イラスト等を多用し、生徒の興味関心をひくような内容となっている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文法学習が進めやすく配列されている。まとめではカラー刷りであるが、一見しただけではわかりづらい。 表現の話す・聞く・書くなどは充実しており、資料もさまざまな活動が掲載されているが、読み物教材の量や内容などは物足りなく感じる。 漢字の読み方練習をはじめ、自主的な学習にも使用できる内容となっている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災に関する内容が扱われていない。 兵庫に関しての教材はない。 生徒の興味関心を引き、読書に親しめるように、読み物教材だけでなく多様な読書活動が紹介されている。 学習指導要領にある国際理解や国際協調の精神を養うのに役立ち、ひょうご教育創造プランにある国際社会の平和や発展に貢献する力を養うための教材が役立つ教材が少ない。 			

発行者番号	1 7	発行者名	教育出版株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文の字体が明朝体である。 新出漢字はページ下にあるが、文章末にもまとめられている。 漢字の練習問題が巻末にあり、生徒の自主的な学習に利用できる。 写真やイラストの量、カラーの使い方に生徒が興味を持てるようにもう少し工夫がほしい。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習の目標がわかりやすく明示されている。 各単元で何を学習するかが明確にされ、それに沿った内容の配列になっている。 各単元で学習すべきことが独立しているおり、単元のつながりが少ない。 名作や考えさせられる教材が多い。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災に関する教材はない。 兵庫に関する教材はない。 文法学習が進めやすく配列されている。 1年生の古典への導入教材は、文字が多く難解に感じる生徒がいると予想でき、興味を持って学習しにくい。 学習指導要領にある国際理解や国際協調の精神を養うのに役立ち、ひょうご教育創造プランにある国際社会の平和や発展に貢献する力を養うための教材が学年に応じて取り上げられている。 			

教科名（国語）

発行者番号	38	発行者名	光村図書出版株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文の字体が明朝体である。 ・新出漢字は文章末にまとめて掲載されている。字は小さめである。 ・落ち着いた色づかいの挿絵や写真を配し、中学生の学びにふさわしい装丁である。 ・巻頭の教科書の使い方の手引きはやや地味で、生徒が見通しを持つ効果はあまり期待できない。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み応えのある文学作品が各学年に応じて掲載されている。 ・本書のための書きおろしの作品も多数掲載され、学習のねらいがよりはっきりとしたものになっている。 ・古典の配列は生徒に興味関心をもたせるには難しいものとなっている。ほとんど口語訳されており、理解しやすい一方、読み解くおもしろさに欠ける。 ・文法の多くが最後にまとめられ、難解な印象である。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災に関する内容が1．2年生で取り上げられている。 ・兵庫に関する教材はない。 ・学習指導要領にある国際理解や国際協調の精神を養うのに役立ち、ひょうご教育創造プランにある国際社会の平和や発展に貢献する力を養うための教材が学年に応じて取り上げられている。 			

教科名（書写）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <p>①A B判 148 ページ 1～3 年生合冊</p> <p>②色彩・レイアウトについては、色覚特性に配慮し、生徒の自己評価等の欄を設けるなど、工夫されているが、カラーページが多すぎてかえって生徒が見にくいのでは、との懸念がある。</p> <p>③「学習の進め方」については、目次の次に配置してあり、生徒の学習が進みやすいよう配慮がされている。</p> <p>④コラム・解説部分が多様であり、書写に関する詳しい説明が掲載されている。</p> <p>【内容の配列と分量】</p> <p>①1 年生の教材 毛筆の手本：1（楷書2・行書2） 硬筆の手本（教材）：字形・楷書の仮名・配列・字形の仕組み・筆順・年賀状・竹取物語</p> <p>②2 年生の教材 毛筆の手本：（楷書0・行書4） 硬筆の手本（教材）：形の変化・筆順の変化・行書の動き・行書の仮名・枕草子・楷書と行書・平家物語</p> <p>③3 年生の教材 （楷書0・行書1） 硬筆の手本（教材）：効果的に書こう・奥の細道</p> <p>④コラム等：「しょしゃのたね」「学習に生かそう」「生活に広げよう」</p> <p>⑤資料編 有 P99～148</p> <p>⑥書初め教材：巻末に全学年の書初め題字が折込式で用意されている。</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>①学年ごとの「書写に関する事項」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1 学年 ア：字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。 イ：漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。 ・第2 学年 ア：漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。 イ：目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書くこと。 ・第3 学年 ア：身の回りの多様な文字に関心を持ち、効果的に文字を書くこと。 <p>以上については、適切に教材を配置し、系統的に学習できるよう対応している。</p>			

教科名（書写）

発行者番号	1 1	発行者名	学校図書株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <p>①B 5判変型 122 ページ 1～3 年生合冊</p> <p>②色彩・レイアウト：ユニバーサルデザインに配慮して編集している。全体的に落ち着いた色調でまとめられている。</p> <p>③「学習の進め方」について：目次の次に「学習の進め方」があり、毛筆の試し書き→練習→まとめ書き→硬筆という段階的な学習になっている。</p> <p>④毛筆の手本は癖のない字形であるが、やや細く線ののびやかさに欠ける感がある。</p> <p>【内容の配列と分量】</p> <p>①1年生の教材 毛筆の手本：（楷書4・行書2） 硬筆の手本（教材）：字形・筆順・鳥啼歌・点画の変化・確かめよう字形の仕組み・竹取物語</p> <p>②2年生の教材 毛筆の手本：（楷書2・行書3） 硬筆の手本（教材）：少年の日の思い出・行書体・行書の動き・枕草子</p> <p>③3年生の教材 （楷書1・行書1） 硬筆の手本（教材）：書写を生活に生かそう</p> <p>④コラム等：書写の窓 発展（九成宮・蘭亭序・臨書・篆刻）</p> <p>⑤資料編 有 P111～122</p> <p>⑥書初め教材：学年ごとに途中に折込式</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>①学年ごとの「書写に関する事項」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年 ア：字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。 イ：漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。 ・第2学年 ア：漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。 イ：目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書くこと。 ・第3学年 ア：身の回りの多様な文字に関心を持ち、効果的に文字を書くこと。 <p>以上については、適切に教材を配置し、系統的に学習できるよう対応している。</p>			

教科名（書写）

発行者番号	15	発行者名	株式会社 三省堂
<p>【教科書の特色】</p> <p>①B5判 116ページ 1～3年生合冊</p> <p>②色彩・レイアウト：カラーユニバーサルデザインに配慮した色づかいであることが明記されている。学年扉があり、学年ごとの学習内容のまとまりがわかりやすい。</p> <p>③「学習の進め方」について：「この教科書のしくみ」として学習の流れが書かれているが、生徒にはわかりにくい表現や図式になっている感がある。</p> <p>④毛筆の楷書の手本、特に名前部分には伸びがなく、字形もバランスが悪い。</p> <p>【内容の配列と分量】</p> <p>①1年生の教材 毛筆の手本：（楷書3・行書2） 硬筆の手本（教材）：点画の組み立て・部分の組み立て・漢字のさまざまな書き方・竹取物語</p> <p>②2年生の教材 毛筆の手本：（楷書0・行書3） 硬筆の手本（教材）：行書を使いこなそう・省略、筆順の変化・学習のまとめ・小さな手袋他</p> <p>③3年生の教材 （楷書0・行書0） 硬筆の手本（教材）：※手本としては見当たらない</p> <p>④コラム等：「発展」が1か所のみ</p> <p>⑤資料編 有 P77～116</p> <p>⑥書初め教材：1年のみ途中で 2・3年生は巻末に折込式</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>①学年ごとの「書写に関する事項」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年 ア：字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。 イ：漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。 ・第2学年 ア：漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。 イ：目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書くこと。 ・第3学年 ア：身の回りの多様な文字に関心を持ち、効果的に文字を書くこと。 <p>以上については、適切に教材を配置し、系統的に学習できるよう対応している。</p>			

教科名（書写）

発行者番号	17	発行者名	教育出版株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <p>①B5判 142ページ 1～3年生合冊</p> <p>②色彩・レイアウト：CUDマークがある。カラーユニバーサルデザインに配慮した色づかい、レイアウトになっている。</p> <p>③「学習の進め方」について：見開きに「目的に合わせて書こう」の折込ページがあり、すっきりと学習の流れが視覚化されている。</p> <p>④毛筆の手本は楷書・行書ともに適切な字形・題材であり、硬筆の練習教材が豊富である。書き込み教材、なぞり教材が用意されている。</p> <p>【内容の配列と分量】</p> <p>①1年生の教材 毛筆の手本：（楷書3・行書3） 硬筆の手本（教材）：ふしぎ・字形、筆順・行の中心・配列・点画の連続、変化・行書</p> <p>②2年生の教材 毛筆の手本：（楷書0・行書4） 硬筆の手本（教材）：点画の連続と省略・筆順の変化・行書の特徴・行書に調和する仮名・走れメロス・枕草子・平家物語</p> <p>③3年生の教材 （楷書0・行書2） 補充教材で楷書2、行書4 硬筆の手本（教材）：配列・奥の細道</p> <p>④コラム等：道具について・文字で心を伝えよう・文字は残る・文字の変遷・暮らしの文字を支える人・あの人が残した文字・日本建築と書・社会で生きる文字・芸術としての書</p> <p>⑤資料編 有 P114～142</p> <p>⑥書初め教材：1年生は途中に折込式 2～3年生は巻末に折込式</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>①学年ごとの「書写に関する事項」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年 ア：字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。 イ：漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。 ・第2学年 ア：漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。 イ：目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書くこと。 ・第3学年 ア：身の回りの多様な文字に関心を持ち、効果的に文字を書くこと。 以上については、適切に教材を配置し、系統的に学習できるよう対応している。 			

教科名（書写）

発行者番号	38	発行者名	光村図書出版株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <p>①B5判 119ページ 1～3年生合冊</p> <p>②色彩・レイアウト：見開きページ一面で学習の目標と評価が視覚化されているが、色目は原色系が目立つ印象がある。所々に見られるイラストには疑問を感じる。</p> <p>③「学習の進め方」について：目次と一緒に「学習の流れ」として示されているが、黒板のデザインのためか暗い印象を受ける。生徒にとっては見にくいレイアウトになっている。</p> <p>④毛筆の手本縮小版であるため、実際の太さや配置が生徒にはわかりにくい。硬筆の教材として、なぞり書きの見開きページが用意されている。</p> <p>【内容の配列と分量】</p> <p>①1年生の教材 毛筆の手本：（楷書2・行書2） 硬筆の手本（教材）：漢字の字形・楷書と仮名を交えて書こう・行書の書き方・季節のしおり（コラム）</p> <p>②2年生の教材 毛筆の手本：（楷書0・行書3） 硬筆の手本（教材）：行書の練習・行書と仮名を交えて書こう・季節のしおり2（コラム）</p> <p>③3年生の教材 （楷書0・行書1）※資料編に楷書3、行書5あり 硬筆の手本（教材）：※手本としては見当たらない</p> <p>④コラム等：文字の歴史を探る・季節のしおり・デザインと文字・手書きの文字</p> <p>⑤資料編 有 P59～119</p> <p>⑥書初め教材：全学年巻末に折込式</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>①学年ごとの「書写に関する事項」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年 ア：字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。 イ：漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。 ・第2学年 ア：漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。 イ：目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書くこと。 ・第3学年 ア：身の回りの多様な文字に関心を持ち、効果的に文字を書くこと。 <p>以上については、適切に教材を配置し、系統的に学習できるよう対応している。</p>			

教科名（社会〈地理的分野〉）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <p>各単元に共通して、平易な文章記述がされている。また、「地理にアクセス」や「深めよう」「地理スキル・アップ」など、知識・理解の習得以外に社会科で必要な観点を身につけることができる欄が設けられている。歴史的建造物などに、国宝と重文、世界遺産のマークが付せられているのも特色である。</p> <p>【内容の配列と分量】</p> <p>「地域的特色の理解」を確実にするために単元が構造化され、小学校での既習事項との接続にも配慮した構成になっている。また、3分野との関連を図った教材になるよう、写真や図表に工夫を凝らして学習効果を高めようとしている。目次や索引、巻末資料を省いたページ数は277ページで、見開き2ページで1単位時間を原則に柔軟な指導計画の作成が可能な分量となっている。</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>「地理的分野の基礎的・基本的な知識・概念や技能を着実に定着させる」ことや「段階的な言語活動で思考力・判断力・表現力を育む」こと、「公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養う」こと、「わが国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考え、国土や歴史に対する理解と愛情を深める」ことが盛り込まれた内容になっている。また、文章には敬体が用いられ、因果関係を明確に記述する一方で、中学生の発達段階を考慮した平易な表現が用いられている。</p>			

発行者番号	17	発行者名	教育出版
<p>【教科書の特徴】</p> <p>「地理的分野の改訂の要点」から見た特色として、習得－活用－探究の考え方を基にした内容構成になっている。また、地理について考察する力や説明する力の育成を図る「読み解こう」コーナーを設けて、あわせて地域的特色に関わる学習の重視も図れるようになっている。それ以外にも、地図の活用を中心とした地理的技能育成の一層の重視を図れるのが特色である。</p> <p>【内容の配列と分量】</p> <p>世界地理全体に関わる内容のあとに世界の諸地域の単元があり、そのあとに日本地理を学ぶスムーズな配列になっている。分量も、見開き1ページで1時間の適切な分量である。</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>全体を「世界」と「日本」の二つに大きく分けられている。各編については「習得－活用－探究」の考え方を基に、①地域構成②世界各地の生活の多様性・日本全体の大観③諸地域の地域的特色④調べ学習という、章立てで構成されている。こうしたことで、学習内容や学習活動を段階的に発展、深化できるように構成されている。そして、「探究」にあたる調べ学習の部分として、特に第2編・第4章の「身近な地域の調査」では、地図の活用に関する基礎的な知識・技能を確かめながら、生徒が生活している地域の発展に努めようとする、社会参画の視点を取り入れた学習が深まるように工夫されている。</p>			

教科名（社会〈地理的分野〉）

発行者番号	4 6	発行者名	株式会社 帝国書院
<p>【教科書の特徴】</p> <p>日本と世界の諸地域への理解を深めるとともに、日本や世界のさまざまな地理的事象に対して生徒自らが関心を持って学習に取り組めるように、以下のような特色を持った教科書に編集されているのが特色である。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 自然環境や生活・文化、産業など、それぞれの地域の特色が確実に理解できる。 ② 地域の特色を生かした人々の営みや努力が見える。 ③ 現代の諸地域を取りまく動向や課題への取り組みが捉えられている。 ④ 学習を通して読図や作図などの技能が身につく。 <p>【内容の配列と分量】</p> <p>はじめに「導入写真ページ」、おわりに「学習をふりかえろう」をおいている。通常ページは、基礎・基本となる自然環境の学習から始め、生活・文化、産業などの地域の特色をしっかりとおさえるようになっている。また、丁寧で分かりやすい本文と資料を充実させ、きちんと整理・理解ができる配列と分量になっている。</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>学習指導要領の趣旨をふまえて、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 社会のしくみや現状など、社会科の基礎・基本がしっかりと身につく教科書 ② 社会を形成する人々の様々な工夫や努力が見える教科書 ③ 現代社会の諸課題と、その解決に向けての取り組みが見える教科書 ④ 人々が作り上げてきた世界や日本の各地にある様々な文化が認識できる教科書 ⑤ 様々な考えをもつ人々と共生していくことの大切さを伝える教科書 ⑥ 新しい社会の形成に参画していくことの大切さを伝える教科書 <p>になるよう編集されている。</p>			

発行者番号	1 1 6	発行者名	日本文教出版株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <p>「世界の各州・日本の各地方の地域的特色を確実に理解できる」「地理的事象について生徒が考え、判断し、表現することができる」「今日的課題について、生徒が主体的に考察することができる」「小学校や他分野との連携を重視した」内容になっているのが特色である。</p> <p>【内容の配列と分量】</p> <p>世界地理全体に関わる内容のあとに世界の諸地域の単元があり、そのあとに日本地理を学ぶスムーズな配列になっている。分量も、見開き1ページで1時間の適切な分量である。</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>学習指導要領に示された趣旨や目標、内容を基準にして、生徒たちが学習内容を確実に身につけ、意欲的に楽しく地理的分野の学習を進められることをめざして編集されている。</p> <p>また、日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、それを多面的・多角的の考察できるように留意されている。</p>			

教科名（社会＜歴史的分野＞）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍株式会社								
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ B 5判より横長サイズ(A B判)で、見開き 2 ページで 1 時間の構成。興味・関心を喚起する導入資料、学習のめあての明示、分かりやすい本文、豊富な資料、学習内容をまとめる確認と授業で使い勝手が良い構成となっている。資料は、副教材の資料集が不要ほど多い。 ・ 各章の最初に、小学校の社会科学習を振り返るとともに、これから学習する内容の導入になるページが設けられている。 <p>【内容の配列と分量】 ()内の数字はページ数</p> <table> <tr> <td>第 1 章 歴史の流れをとらえよう(1 4)</td> <td>第 2 章 古代までの日本(4 4)</td> </tr> <tr> <td>第 3 章 中世の日本(3 4)</td> <td>第 4 章 近世の日本(4 4)</td> </tr> <tr> <td>第 5 章 開国と近代日本の歩み(5 4)</td> <td>第 6 章 二度の世界大戦と日本(4 4)</td> </tr> <tr> <td>第 7 章 現代の日本と世界(3 7)</td> <td></td> </tr> </table> <p>全体的に内容のバランスが良い。</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 豊富な資料により、生徒の興味・関心を高め、資料活用の技能や思考力を高める構成が見られる。 ・ 学習のめあてが明示しており、まとめに使える「確認」が添えられている。 ・ 世界や日本の伝統や文化についての記述が詳しい。文化が各時代・時期ごとにまとめてあり、生徒にとっては時代や時期を混同することが少なくなる。 ・ 「深めよう」で「歴史の中の大震災」のページなどもあり、防災・減災教育の視点も見られる。 				第 1 章 歴史の流れをとらえよう(1 4)	第 2 章 古代までの日本(4 4)	第 3 章 中世の日本(3 4)	第 4 章 近世の日本(4 4)	第 5 章 開国と近代日本の歩み(5 4)	第 6 章 二度の世界大戦と日本(4 4)	第 7 章 現代の日本と世界(3 7)	
第 1 章 歴史の流れをとらえよう(1 4)	第 2 章 古代までの日本(4 4)										
第 3 章 中世の日本(3 4)	第 4 章 近世の日本(4 4)										
第 5 章 開国と近代日本の歩み(5 4)	第 6 章 二度の世界大戦と日本(4 4)										
第 7 章 現代の日本と世界(3 7)											

発行者番号	1 7	発行者名	教育出版株式会社								
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ B 5判より横長サイズ(A B判)で、見開き 2 ページで 1 時間の構成。導入または中心となる資料、分かりやすい学習している年代の表示、学習課題の明示、豊富な補助資料、まとめて活用できる「ふりかえる」の設問等、使い勝手が良い構成となっている。 ・ 毎時の学習タイトルが、本時の学習内容をイメージさせる主題となっている。 ・ 色覚等の特性をふまえ、カラーユニバーサルデザインが採用されている。 <p>【内容の配列と分量】 ()内の数字はページ数</p> <table> <tr> <td>第 1 章 歴史の移り変わりを考えよう(9)</td> <td>第 2 章 原始・古代の日本と世界(3 8)</td> </tr> <tr> <td>第 3 章 中世の日本と世界(3 4)</td> <td>第 4 章 近世の日本と世界(4 4)</td> </tr> <tr> <td>第 5 章 近代の幕開け(2 4)</td> <td>第 6 章 近代の日本と世界(3 8)</td> </tr> <tr> <td>第 7 章 二度の世界大戦と日本(4 2)</td> <td>第 8 章 現代の日本と世界(3 2)</td> </tr> </table> <p>古代までの内容が少なく、近代前期(～明治時代)の内容が多い。</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「読み解こう」のコーナーが設けられ、資料活用を中心とした読解力が身に付くように配慮されている。 ・ 本時の学習課題が明示されており、授業のまとめに活用できる「ふりかえる」が添えられている。 ・ 文化が時代や時期ごとにまとめてあり、取り扱いがしやすい。 ・ 興味や関心を広げていく「歴史の窓」というコラムが設けられている。 				第 1 章 歴史の移り変わりを考えよう(9)	第 2 章 原始・古代の日本と世界(3 8)	第 3 章 中世の日本と世界(3 4)	第 4 章 近世の日本と世界(4 4)	第 5 章 近代の幕開け(2 4)	第 6 章 近代の日本と世界(3 8)	第 7 章 二度の世界大戦と日本(4 2)	第 8 章 現代の日本と世界(3 2)
第 1 章 歴史の移り変わりを考えよう(9)	第 2 章 原始・古代の日本と世界(3 8)										
第 3 章 中世の日本と世界(3 4)	第 4 章 近世の日本と世界(4 4)										
第 5 章 近代の幕開け(2 4)	第 6 章 近代の日本と世界(3 8)										
第 7 章 二度の世界大戦と日本(4 2)	第 8 章 現代の日本と世界(3 2)										

教科名（社会＜歴史的分野＞）

発行者番号	35	発行者名	株式会社 清水書院
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来からのB5判サイズで、持ち運びしやすい。 ・見開き2ページで1時間の構成になっており、学習のめあてが明示され、様々な資料や授業のまとめに活用できる「まとめてみよう」のコーナーがある。 ・学習内容や人物に関するコラム以外にも、「もっと知りたい歴史」「歴史のとびら」のページが設けられている。 <p>【内容の配列と分量】（ ）内の数字はページ数</p> <p>第1章 原始・古代の日本と世界(52) 第2章 中世の日本と世界(32) 第3章 近世の日本と世界(56) 第4章 近代化の進む世界と日本(62) 第5章 二つの世界大戦と日本(40) 第6章 現代の世界と日本(28)</p> <p>縄文時代の後に、世界の文明が扱われている。 近世と近代前期の内容が多い。</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習のめあての明示と、学習の振り返りに活用できる「まとめてみよう」のコーナーがある。 ・図版などを読み取るためのヒントが示されており、資料の読み取りや思考を深めるのに役立つ。 ・文化は時代・時期ごとにまとめてあるので、学習しやすい。 			

発行者番号	46	発行者名	株式会社 帝国書院
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B5判より横長サイズ(AB判)で、見開き2ページで1時間の構成。導入に活用できる資料、学習課題、「自然環境」「人権」「交流」「平和」さらに「地域史」「人物」のコラムを含めた多様な資料、まとめに活用できる「確認しよう」「説明しよう」等が見やすく配置されている。 ・見開き2ページの各時代の特色を描いたイラスト「タイムトラベル」が設けられており、生徒の興味関心を高めることができる。 <p>【内容の配列と分量】（ ）内の数字はページ数</p> <p>第1部 歴史のとらえ方と調べ方(11) 第2部 古代国家の成立と東アジア(38) 第3部 武家政権の成長と東アジア(36) 第4部 武家政権の展開と世界の動き(52) 第5部 近代国家の歩みと国際社会(56) 第6部 二度の世界大戦と日本(42) 第7部 現在に続く日本と世界(28) 古代までと現代の内容が少ない。</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入資料で興味・関心を高め、学習課題を確認、授業を展開し、最後は振り返りができる構成になっている。言語活動に対する工夫も見られる。 ・それまでに学習した内容をふまえた文化成立の社会的背景も理解しやすい構成になっている。多くの文化は、4ページにわたって構成されており、資料も豊富である。 ・「自然環境」「人権」「交流」「平和」のコラム、さらに「地域史」や「人物」のコラムがあり、生徒の興味・関心を高めるとともに、多面的・多角的な視点の大切さに気づける工夫がされている。 			

教科名（社会＜歴史的分野＞）

発行者番号	1 1 6	発行者名	日本文教出版株式会社						
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ B 5 判より横長サイズ(A B 判)で、見開き 2 ページで 1 時間の構成。毎時の学習課題が明示され、授業のまとめには「学習の確認と活用」が利用できる。 ・ どの時代・世紀の学習をしているのかがすぐに分かるスケールが、左ページの左端に大きく付けられている。 ・ 写真や地図その他図版の色調が明るく、見やすいように工夫されている。 <p>【内容の配列と分量】 ()内の数字はページ数</p> <table> <tr> <td>第 1 編 歴史のとらえ方(8)</td> <td>第 2 編 古代までの日本(4 4)</td> </tr> <tr> <td>第 3 編 中世の日本(3 8)</td> <td>第 4 編 近世の日本(5 0)</td> </tr> <tr> <td>第 5 編 近代の日本と世界(9 8)</td> <td>第 6 編 現代の日本と世界(3 6)</td> </tr> </table> <p>全体的な学習内容のバランスが良い。</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習課題が明示され、授業のまとめに活用できる「学習の確認と活用」が添えられている。「読み取る」「考えよう」「伝えよう」で資料の内容を読み取り、それをもとに思考・判断・表現の言語活動ができるように工夫されている。 ・ 人権、平和、環境、防災・減災、伝統と文化などについて、本文だけでなくコラムを活用してより深く学習ができる。 ・ 文化は時代・時期ごとにまとめてあるので、学習しやすい。 				第 1 編 歴史のとらえ方(8)	第 2 編 古代までの日本(4 4)	第 3 編 中世の日本(3 8)	第 4 編 近世の日本(5 0)	第 5 編 近代の日本と世界(9 8)	第 6 編 現代の日本と世界(3 6)
第 1 編 歴史のとらえ方(8)	第 2 編 古代までの日本(4 4)								
第 3 編 中世の日本(3 8)	第 4 編 近世の日本(5 0)								
第 5 編 近代の日本と世界(9 8)	第 6 編 現代の日本と世界(3 6)								

発行者番号	2 2 5	発行者名	株式会社 自由社								
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ B 5 判で、持ち運びがしやすい。 ・ 毎時の学習課題が明示され、授業の振り返りに「まとめにチャレンジ」が活用できる。 ・ 「もっと知りたい」「人物クローズアップ」「外の日から見た日本」等のコラムが多い。 ・ 章末に「歴史豆辞典」といった用語解説のページが設けられている。 ・ 単元は 1 ～ 9 1 の通し番号になっている。 <p>【内容の配列と分量】 ()内の数字はページ数</p> <table> <tr> <td>序 章 歴史のとらえ方(1 8)</td> <td>第 1 章 古代までの日本(5 6)</td> </tr> <tr> <td>第 2 章 中世の日本(2 8)</td> <td>第 3 章 近世の日本(4 4)</td> </tr> <tr> <td>第 4 章 近代の日本と世界(I)(5 8)</td> <td>第 5 章 近代の日本と世界(II)(4 0)</td> </tr> <tr> <td>第 6 章 現代の日本と世界(2 9)</td> <td></td> </tr> </table> <p>縄文時代の後に、世界の文明の発生が取り扱われている。 古代までの内容が多く、中世と現代の内容が少ない。</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎時の学習の課題が示され、まとめに活用できる設問がある。 ・ 文化は、いくつかの時代の文化が一度に紹介されている。 				序 章 歴史のとらえ方(1 8)	第 1 章 古代までの日本(5 6)	第 2 章 中世の日本(2 8)	第 3 章 近世の日本(4 4)	第 4 章 近代の日本と世界(I)(5 8)	第 5 章 近代の日本と世界(II)(4 0)	第 6 章 現代の日本と世界(2 9)	
序 章 歴史のとらえ方(1 8)	第 1 章 古代までの日本(5 6)										
第 2 章 中世の日本(2 8)	第 3 章 近世の日本(4 4)										
第 4 章 近代の日本と世界(I)(5 8)	第 5 章 近代の日本と世界(II)(4 0)										
第 6 章 現代の日本と世界(2 9)											

教科名（社会＜歴史的分野＞）

発行者番号	227	発行者名	株式会社 育鵬社								
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ B5判より横長サイズ(AB判)で、見開き2ページで1時間の構成。毎時の学習課題が明示されており、豊富な資料を使って学習し、「学習のまとめ」で振り返りができる構成になっている。 ・ 「歴史ビュー」「人物クローズアップ」「歴史ズームイン」「なでしこ日本史」のコラムがある。「課題学習」のページも設けられている。 ・ 単元(授業テーマ)は、1～85の通し番号になっている。 <p>【内容の配列と分量】 ()内の数字はページ数</p> <table> <tr> <td>序章 (タイトルなし)(5)</td> <td>第1章 原始と古代の日本(52)</td> </tr> <tr> <td>第2章 中世の日本(32)</td> <td>第3章 近世の日本(54)</td> </tr> <tr> <td>第4章 近代の日本と世界(54)</td> <td>第5章 二度の世界大戦と日本(44)</td> </tr> <tr> <td>第6章 現代の日本と世界(27)</td> <td></td> </tr> </table> <p>現代の内容が少ない。</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 導入、学習課題の確認から振り返りまで構成が整っている。 ・ 本文以外にも、「人物クローズアップ」「歴史ズームイン」「課題学習」等で文化に関する記述が見られる。 ・ 「このころの世界は」で、各時代の日本の歴史とかかわりが深い外国の動きについてふれられている。 				序章 (タイトルなし)(5)	第1章 原始と古代の日本(52)	第2章 中世の日本(32)	第3章 近世の日本(54)	第4章 近代の日本と世界(54)	第5章 二度の世界大戦と日本(44)	第6章 現代の日本と世界(27)	
序章 (タイトルなし)(5)	第1章 原始と古代の日本(52)										
第2章 中世の日本(32)	第3章 近世の日本(54)										
第4章 近代の日本と世界(54)	第5章 二度の世界大戦と日本(44)										
第6章 現代の日本と世界(27)											

発行者番号	229	発行者名	株式会社学び舎						
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A4判で他社より大きなサイズである。 ・ 毎時の学習タイトルが、生徒の興味・関心を高めて授業のイメージをふくらまかす ・ 本文の記述が他社よりも詳しく、資料の写真や絵が大きくて見やすい。 <p>【内容の配列と分量】 ()内の数字はページ数</p> <table> <tr> <td>第1部 原始・古代(46)</td> <td>第2部 中世(32)</td> </tr> <tr> <td>第3部 近世(56)</td> <td>第4部 近代(48)</td> </tr> <tr> <td>第5部 二つの世界大戦(64)</td> <td>第6部 現代(38)</td> </tr> </table> <p>近世と近代後期(大正時代～終戦)、現代の内容が多い。近代前期の内容が少ない。</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2章からは、生徒自らが課題をもって学習するとし、毎時の学習課題が明示されていない。毎時の学習の振り返りもない。 ・ 人々の生活や文化に関する記述が詳しい。その他の単元も含め、本文を読み進めるだけで学習内容が理解できる。 				第1部 原始・古代(46)	第2部 中世(32)	第3部 近世(56)	第4部 近代(48)	第5部 二つの世界大戦(64)	第6部 現代(38)
第1部 原始・古代(46)	第2部 中世(32)								
第3部 近世(56)	第4部 近代(48)								
第5部 二つの世界大戦(64)	第6部 現代(38)								

教科名（社会〈公民的分野〉）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <p>「基礎・基本の定着を確実にする単元の構造化」「小学校社会科や地理的分野・歴史的分野の学習との円滑な接続に配慮した構成」「3分野の学習の関連を図った教材構成」「学習効果を高める写真や図表の工夫」を特色とした編集になっている。</p> <p>【内容の配列と分量】</p> <p>各章の学習が、「学習に興味・関心を持たせる導入部→学習を進める展開部→章の学習をまとめる終結部」という流れで構造化し、基礎的・基本的な知識や概念を確実に習得できるようにしている。</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>学習指導要領の趣旨をふまえ、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 公民的分野の基礎的・基本的な知識・概念や技能を確実に定着させる。 ② 日常的・段階的な言語活動で、思考力・判断力・表現力を育む。 ③ 公共の精神に基づき、より良い社会の形成に主体的に参画する態度を養う。 ④ わが国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考え、国土や歴史に対する理解と愛情を深める。 ⑤ 環境・エネルギー・防災・安全、人権・平和など、今日的な課題の解決のための意識と態度を育てる。 ⑥ より良い社会生活を営むために必要な能力を育てる。 ⑦ 国旗や国家を尊重する態度を育てる。 <p>ように編集されている。</p>			

発行者番号	17	発行者名	教育出版株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 現代社会の特色や現代社会における文化の意義や影響に関する学習の重視 ② 現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を養う学習 ③ 現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を生かした内容構成 ④ 社会の変化に対応した方や金融などに関する学習の重視 ⑤ 課題の探求を通して社会の形成に参画する態度を養うことの重視を特色としている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <p>授業の流れや学習の見通しがつかみやすいように、1時間の授業を見開き2ページで構成している。また、左上の部分に、学習の導入または中心となる資料を配置し、キャラクターの問いから学習を展開していく形式としている。</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>学習指導要領の趣旨をふまえ、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 市民的教養としての基礎・基本が身につく教科書 ② 現代社会のしくみや課題を読み解く教科書 ③ 主権者としてともに生きる力を育む教科書をめざして編集されている。 			

教科名（社会〈公民的分野〉）

発行者番号	35	発行者名	株式会社 清水書院
<p>【教科書の特徴】</p> <p>「授業のしやすさに配慮した単元構成」と「多角的・多面的視点からアプローチする特設ページ」、「公民学習への導入とした『学習のはじめに』」、「各章への導入として『人物をクローズアップした扉』」、「充実した巻末付録」を特色に編集されている。</p> <p>【内容の配列と分量】</p> <p>見開き2ページで1単元の学習ができるように工夫され、具体的な解説や補足が必要と思われる箇所には注を設けて丁寧に解説されている。また、1単元ごとに1つのテーマが設定され、生徒の興味や関心を引き出すことが意図されている。</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>学習指導要領の趣旨をふまえ、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 個人と社会のつながりについて、できるだけ具体的な事例を通して個人の尊厳と人権尊重の立場から考察させる。 ② その実現のためには、国民生活の向上と安定が不可欠であるとの立場に基づいた考え方の基礎を培う。 ③ 地球的規模の課題の解決に主体的に取り組んでいく姿勢を培う。 <p>ように編集されている。</p>			

発行者番号	46	発行者名	株式会社 帝国書院
<p>【教科書の特徴】</p> <p>中学生が将来社会に出た時に直面するであろう様々な課題や、権利や義務の関係についての理解を深め、公共の精神を尊びながら、主体的に社会の形成に参画する意識を育めるよう、以下のような特色を持った教科書に編集されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 学習内容と結びつく、身近な事例や現実社会の動きから学べる工夫 ② 中学生が現在、そして将来直面するであろう課題と、解決に向けての取り組みを踏み込んで提示 ③ 社会のしくみや概念、「対立と合意」「公立と公正」などの見方・考え方をしっかり身につけられる構成 ④ 効果的な作業・活動を通じて思考力・判断力・表現力を高める工夫 <p>【内容の配列と分量】</p> <p>「クローズアップ」→「学習課題」→「解説」→「資料活用」→「確認しよう」→「説明しよう」の順に、見開きごとに使い方が整理されている。また、社会のしくみと現状が分かる本文と、興味・関心を引く、大きくて見やすい資料が充実している。</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>学習指導要領の趣旨を踏まえ、授業時間が限られるなかでもスムーズに探究活動を行えるよう、あらかじめ本書全体にレポート作成のヒントやきっかけが示されている。</p> <p>第1部で意識付け→一般ページで確認→章ごとにノウハウを蓄積→第5部流れである。</p>			

教科名（社会〈公民的分野〉）

発行者番号	1 1 6	発行者名	日本文教出版株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <p>人権・環境・平和といった普遍的な価値を基礎として、現代社会の諸問題に対して公正に判断することができるよう、公民的資質の基礎を養い、生徒が公民の学習を通して自らの成長を実感し、将来に希望を持って社会で生かしていくことができる内容をめざして編集されている。具体的には、以下の点である。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 公民的分野の基礎的・基本的な学力の定着と活用ができる教科書 ② 現代の諸課題に対応する思考力・判断力・表現力を養う学習を重視した教科書 ③ 持続可能な社会を築くために主体的に社会に参画する意欲を育む教科書 ④ 学ぶ楽しさと、伝統・文化に対する関心と理解を深める教科書 <p>【内容の配列と分量】</p> <p>本文は1授業時間＝見開き2ページとし、この見開きで何を学ぶのかを「学習課題」で明確に示している。右ページの側注欄には、「学習の確認と活用」を設け、学習のポイントの確実な定着を企図した学習活動やその知識を用いて現実の問題に取り組む問いかけを提示している。また、思考力・判断力・表現力を培う「言語活動コーナー」、アクティビティなどを適宜配している。</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>学習指導要領の一部改訂に対応するため、「日本の領土をめぐる問題」を充実させ、「固有の領土である北方領土や竹島に関し未解決の問題が残されていること」「固有の領土である尖閣諸島」に「解決すべき領有権の問題は存在していないこと」などを明確に記述している。</p>			

発行者番号	2 2 5	発行者名	株式会社 自由社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 版が小さく持ち運びに便利。 ・ 学習課題が明示されており、かつ、「ここがポイント」にコンパクトにまとめられている。 ・ 単元の番号が教科書全体を通して連番になっている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重要なことがらを一つの単元だけで学習するのではなく、いくつもの単元で重ねて学習できるようにしている。 ・ 各章の最後にある「学習のまとめと発展」で、学習が深まるように色々工夫されている。 ・ さらに「学習の発展」に進んで、より進んだ課題に挑戦できるようになっている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>学習指導要領の趣旨をふまえ、「基礎・基本の定着を図る」内容から「学習のまとめと発展」、さらに「もっと知りたい」という順で学習を積み重ねていけば、次第に深化が図れる構成になっている。</p>			

教科名（社会〈公民的分野〉）

発行者番号	227	発行者名	株式会社 育鵬社
<p>【教科書の特色】</p> <p>① 生徒が「自分の立ち位置」を知り、「他人事」を「自分事」として捉えることで、現代社会への興味・関心・意欲を高め、自ら考える態度を育てる。</p> <p>② 現代社会の理想と現実を、本人と豊富な資料、コラムで示し、多面的・多角的な考察力、公正な判断力、適切な表現力を養う。</p> <p>③ 現代社会についての基礎的・基本的な知識と、見方や考え方の基礎などを確実に定着させ、公民として必要な資質を育む。 ことを特色とした構成になっている。</p> <p>【内容の配列と分量】</p> <p>見開き1単位時間の紙面で、「つかむ」→「調べる」→「まとめる」の流れを明確にし、生徒が幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養えるように工夫されている。</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>学習指導要領の趣旨をふまえ、生徒一人ひとりが、歴史的分野で学習した「日本の歴史」に連なる存在であることを自覚した上で、「家族・地域社会・国家・国際社会」と「自分」の関係を認識することにより、これからの日本の国や地域社会を支え、国際社会に貢献できる日本人としての公民的資質の基礎を養うことを意図して編集されている。</p>			

教科名（社会〈地図〉）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校社会科の基礎・基本の定着をサポートする地図帳 ・ 見たい内容が探しやすい地図帳 ・ 今日的課題に対応した地図帳 ・ 見やすく読み取りやすい地図帳になるよう編集されている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <p>社会科の学習内容との連携が図られ、各地域・テーマごとに資料がバランスよく掲載されている。</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>学習指導要領の趣旨をふまえ、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 社会科の基礎的・基本的な知識・概念や技能の定着、思考力・判断力・表現力の育成をサポート ② 学習効果が高まる一般図の図取り ③ わが国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考え、国土や歴史に対する理解と愛情を深める ④ 発達段階に応じた生徒の興味・関心を高める工夫 ⑤ 地図の活用を促す工夫 ⑥ 今日的課題への対応 <p>が内容になっている。</p>			

発行者番号	4 6	発行者名	株式会社 帝国書院
<p>【教科書の特徴】</p> <p>初めて地理を学ぶ中学生が、興味・関心を持ちながら、日本の国土理解、世界の諸地域への理解を深められるよう、以下のような特色を備えた地図帳に編集されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 興味・関心を持って活用できる地図帳 ② 日本の国土理解に資する地図帳 ③ 世界の諸地域の理解に資する地図帳 ④ 見方や使い方が身につく地図帳 ⑤ 活用しやすいよう配慮・工夫した地図帳 ⑥ 誰もが見やすい、分かりやすい地図帳 ⑦ 歴史的・公民的分野でも幅広く使える地図帳 ⑧ 災、文化、自然環境に関する内容を充実させた地図帳 <p>【内容の配列と分量】</p> <p>世界地誌のガイダンス的な内容→各州の具体的な内容→地形図→日本地誌のガイダンス的な内容→各地方の具体的な内容の順に配列されており、教科書の進度と合致する。</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>学習指導要領の趣旨をふまえ、生徒が興味・関心を持てるように大観学習を重視するところから始まり、学習で習得した知識や技能を活用し、それを探求にまで深められるように編集されている。</p>			

教科名（数学）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭に、学習の進め方が記されている。 ・ 加減の計算は、主に数直線が利用されている。乗除の計算は、時間と距離（位置）で説明されている。 ・ 文字の式の単元で、円周率π、等式・不等式を学習している。 ・ 方程式の利用の後に、比例式の計算を配置している。 ・ 平面図形は、移動、直線と角、基本の作図、おうぎ形の順番である。 ・ 空間図形で、体積・表面積の順で学習する。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「数と式」領域の占める割合は低い傾向にある（特に1年と2年）。 ・ 「関数」「図形」領域の割合は高い傾向にある。2年での「関数」領域は、一番多い。 ・ 全学年とも総ページ数が少ない。 ・ 発展的な学習内容を扱っているページが少なく、1年は2ページのみで、3年も一番少ない。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ねらいが明示され、生徒が自主的主体的に学べる構成になっている。 ・ 間違い例が示され、つまずきへのきめ細かな対応ができています。 ・ 章末の「活用問題」では、日常生活に即した課題を提示し、思考力の向上と共に社会（生活）へのつながりができています。 ・ 既習事項の確認が随所であり、振り返りながら基本の定着が図れる。 ・ 基本問題や発展問題があり、習熟度に応じた学習が進められる。 			

発行者番号	4	発行者名	大日本図書株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭に、学習のねらいが記されている。 ・ 加減の計算は、主に数直線が利用されている。乗除の計算は、時間と距離（位置）で説明されている。 ・ 文字の式の単元で、等式・不等式を学習している。 ・ 方程式の利用の前に、比例式の計算を配置している。 ・ 平面図形は、直線と角、移動、基本の作図の順番である。 ・ 空間図形で、おうぎ形の内容の中に円周率πを、さらに体積・表面積の順で学習する。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3年で「数と式」領域に占める割合が一番多い。 ・ 総ページ数は、全学年において、7社の中で一番多い。 ・ 1, 3年生については、300ページを超える。 ・ 全学年において、興味を深めたり、考え方を広めたりする話題やコラムのページが一番多く、各学年とも30ページ近くある。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習目標を明確にし、基礎・基本の習得に向け、スモールステップによる構成になっている。 ・ 発展問題や活用問題があり、生徒が主体的に学ぶための個々への対応ができています。 ・ 数学的活動を充実させ、追求場面等の過程を大切にされた構成で、学習意欲の向上を図ることができる。 ・ 巻末の「マスフル」は、数学と社会事象（生活）について触れ、数学への関心・興味づけに繋がっている。 			

教科名（数学）

発行者番号	1 1	発行者名	学校図書株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭に、学習の目標が記されている。 ・ 加減の計算は、トランプを利用した代数和を用いており、分かりやすい。乗除の計算は、時間と距離（位置）で説明されている。 ・ 方程式の単元で、等式・不等式を学習している。 ・ 方程式の利用の後に、比例式の計算を配置している。 ・ 平面図形は、直線と角、基本の作図、移動の順番である。 ・ 空間図形で、表面積・体積の順で学習する。また、おうぎ形をこの単元で学習し、円周率πを同時に学習する。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総ページ数が、比較的多い。3年については、7社のうちで二番目に多い。 ・ 興味を深めたり、考え方を広めたりする話題やコラムが少ない。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元前の「ふりかえり」や「クローズアップ」で、小中高のつながりを意識した構成で、学びの連続性に繋がる。 ・ 生徒間の話し合いや説明活動を計画的に取り入れ、学び合いや高め合い、またコミュニケーション力（説明力）の向上を図ろうとしている。 ・ 巻末には「さらなる数学」として、協同学習のテーマや内容が示され、「探究、まとめ、発表（思考、判断、表現）」が出来るようにしてある。 ・ 基本問題、応用問題、活用問題と、章末の問題が充実しており、習熟度に応じて取り組める。 			

発行者番号	1 7	発行者名	教育出版株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭に、学習の目標が記されており、また各単元の冒頭に、その単元につながる準備の問題が1ページある。 ・ 加減の計算は、主に数直線が利用されている。乗除の計算は、時間と距離（位置）で説明されている。 ・ 文字の式の単元の計算が唯一、$\times \cdot \div$を始めに、$+ \cdot -$を後で勉強する。最後に等式・不等式を学習している。 ・ 方程式の利用の後に、比例式の計算を配置している。 ・ 平面図形は、直線と角、基本の作図、移動の順番である。おうぎ形の内容で円周率πを学習する。 ・ 空間図形で、体積・表面積の順で学習する。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1, 2年において、「数と式」領域のページ数、また占める割合においても一番多い。 ・ 3年においても、「数と式」領域が多い傾向にある。 ・ 3学年とも、全社のうち、「関数」領域が一番少ない。 ・ 総ページ数は、1, 2年において、二番目に多い。3年についても多い。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 色や文字のフォント・字体等が工夫され、見やすい紙面構成（カラーユニバーサルデザイン化）になっている。 ・ 章の前に小学校の復習を入れ、既習事項の確認や系統性を大切にしている。 ・ 章末に学習のまとめがあり、覚えやすい。 ・ 「もどって確認」「誤答例」等、つまづき対応や基礎基本の習得に繋がる。 ・ 「話し合おう」が随所に配置され、考えの伝え合いによる思考力・表現力の育成に繋がっている。 			

教科名（数学）

発行者番号	6 1	発行者名	株式会社 新興出版社啓林館
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭に、学習のめあて・進め方・利用の仕方が載っており、ノートの工夫も示されている。さらに別冊として、MathNaviブックが付いていて、発展問題や数学の世界など詳しくまとめられている。 ・ 加減の計算は、数直線やランプが利用されている。乗除の計算も、時間と距離（位置）を使わず、ランプを利用した代数和を用いており、分かりやすい。 ・ 文字の式の単元で、等式・不等式を学習している。 ・ 方程式の利用の前に、比例式の計算を配置している。 ・ 平面図形は、直線と角、移動、基本の作図、おうぎ形の順番である。また、ここで円周率πを学習する。 ・ 空間図形で、表面積・体積の順で学習する。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3学年とも、総ページ数は一番少ない。50～60 ページの別冊で、「活用」としてまとめたものがある。 ・ 3年において、「図形」領域の占める割合が多い。1年についてもその傾向が見られる。2年では、「関数」領域の占める割合が多い。 ・ 1, 2年において、「資料の活用」領域の割合が高い。 ・ 1, 3年において、「数と式」領域の割合が一番少ない。2年でも少ない傾向にある。 ・ 発展的な学習内容を扱っているページが多く、全学年とも二番目に多い。 ・ 興味を深めたり、考え方を広めたりする話題やコラムが20～25 ページあり、比較的多い。 ・ スパイラル的教材は、1, 2年において一番少なく、3年でも少ない傾向にあるが、別に章末問題としてのページが設定されている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 例題が豊富で、丁寧な展開記述になっている。また、「くりかえし練習」や習熟・応用のための「まとめの問題」も充実し、個に応じた学習が展開できる。 ・ 節の始めには数学的活動を取り入れた「学習のとびら」があり、学習意欲の向上が図れる。また、「千思万考」のコーナーや巻末には「数学広場」があり、思考力・判断力の育成や数学と生活を結び付けた数学の有用性が実感できる。 ・ 「話し合ってみよう」や「考えをまとめよう」が設定され、表現力（コミュニケーション力、書く力）の向上が図れる。 ・ 別冊「MathNaviブック」があり、発展的な内容が楽しく、興味を深めたり考えを広めたりできる。 			

教科名（数学）

発行者番号	104	発行者名	数研出版株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭に、小学校のふりかえりが数ページにわたって載っている。また、学習のめあてや、ノートの使用方が記されている。 ・ 加減の計算は、主に数直線が利用されている。乗除の計算は、時間と距離（位置）で説明されている。 ・ 文字の式の単元で、円周率π、等式・不等式を学習している。 ・ 方程式の利用の前に、比例式の計算を配置している。 ・ 平面図形は、直線と角、移動、基本の作図、おうぎ形の順番である。 ・ 空間図形で、表面積・体積の順で学習する。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年とも、啓林館に次いで、総ページ数が二番目に少ない。別冊付録等はない。 ・ 興味を深めたり、考え方を広めたりする話題やコラムが少ない。 ・ スパイラル的教材のページは、一番多い。各学年70～80ページある。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭に既習事項の確認をする「クイックチャージ」を取り上げ、学習中に振り返り学習が出来るよう「クイックチャージ」とリンクさせている。スパイラル学習による学習内容の定着が図りやすい。 ・ 数学的活動に力を入れ、自主的・主体的に学べるよう配慮してある。 ・ 巻末の「数学探検」では、活用力の向上が図れたり、身の周りの事象と数学について学べたりでき、興味・感心を高めることが出来る。 ・ 見やすい紙面でカラーユニバーサルデザイン化してある。 			

発行者番号	116	発行者名	日本文教出版株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭に、使い方やノートの工夫、学習の進め方が記されている。また各単元の冒頭に、その単元につながる準備の問題が1ページある。 ・ 加減の計算は、主に数直線、あとからトランプによる代数和が利用されている。乗除の計算は、時間と距離（位置）で説明されている。 ・ 文字の式の単元で、円周率π、等式・不等式を学習している。 ・ 方程式の利用の後に、比例式の計算を配置している。 ・ 平面図形は、直線と角、移動、基本の作図の順番である。 ・ 空間図形で、表面積・体積の順で学習する。また、おうぎ形をこの単元で学習している。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年において、「関数」領域のページが多く、割合としても、1，3年において、他社より一番多い。 2年についても多い傾向にある。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的な問題からやや程度の高い問題、チャレンジ問題等、問題量も豊かで個に応じて学習が展開できる。 ・ 巻末には「マイトライ」として、「前年度の振り返り」や応用力・探究力の向上を目指した「数学研究室」、また基礎基本の定着や活用力の向上を目指した「力をのぼそう」が設定され、内容が充実している。 ・ 唯一、兵庫県の「竹田城址」の写真が掲載され、親しみを感じる。 ・ 課題の中で、防災、環境、福祉等と数学を関連付けて積極的に取り上げている。 			

教科名（理科）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「例題、考え方、練習、確認」でつまづきを解消するように配慮されている。 小中高との関連をもたせ、既習事項の確認や発展的な内容が充実している。 「科学でGO！防災大陸」などで、自然災害に対する意識を高めることができる。 関連書籍の紹介があり、興味関心を深めることができる。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の内容の関連性や教材の入手時期などを考慮した配列である。 ゆとりをもって学習が進められるように基本的な学習内容は、時数配分や学習指導計画が考えられている。 発展的な内容は必修の内容と十分な関連を図り、内容の程度、分量とも配慮されている。 関連する学習内容がリンクマークでわかりやすい。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「実験から」の項目があり、実験を中心に考えを深めさせている。 実験の前後等で「書く・話す」作業を明示してあり、実験や考えを深めることができる。 「確かめと応用 活用編」を設け、PISA 型の問題や活用型の問題に対応している。 			

発行者番号	4	発行者名	大日本図書株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「課題研究」「自由研究にチャレンジしよう！」では探究活動の方法やテーマ例を示して、自ら課題を見つけて活動できるようにしている。 豊かな自然を感じさせる写真やイラストを掲載し、自然や生物に対する情操や道徳心を培えるようにしている。 「思い出そう」「これまでに学習したこと」では既習事項をふり返し、「これから学習すること」では単元の学習を見通すことができる。 単元の最後に学んだ内容を実生活に役立つように言及している。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察、実験のしやすい時期、発達段階や授業環境を考慮した配列が組まれている。 物理と化学では、身近な物質を調べる化学を先に行うようになっている。 日常生活や社会と関連する学習内容の理解を深めるために資料が多い。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察、実験には「結果の整理」と「結果から考えてみよう」を配し、科学的な見方や考え方を養えるようになっている。 環境に関連する内容に環境マークをつけ、自然環境と人間のかかわりを大切にし、環境保全の精神が培える。 結果レポート作成や考えをまとめて論述する言語活動の中で、思考力、判断力、表現力を養うことができる。 			

教科名（理科）

発行者番号	1 1	発行者名	学校図書株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 科学の窓として様々な話題があり、内容に応じて「日常とのつながり」「科学の歴史」「環境」「資料」のマークがつき、生徒の興味・関心を高めている。 単元末に、「科学を仕事に活かす」として学習内容と関連した職業の紹介をし、学習意欲の向上に繋げている。 観察・実験の危険防止には充分配慮し、それぞれ「注意」を適宜入れている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書全体の文字や図など視認性について、色使いやレイアウト、分量も配慮されている。 人物の資料写真やキャラクターについては、男女均等になるよう配慮され、他者の意見を尊重し、協力し合う態度を養うように工夫されている。 必ず「例題」を設けて、解き方の説明をいれ、公式の使い方がわかるようにしている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察・実験の課題は？マークで示し、観察・実験の目的をはっきり意識できるようになっている。 実験の結果と考察は分けて示してあり違いを意識させ、結果を分析し解釈する能力を高められるようになっている。 学習内容の理解を深めるために資料が多く、探求活動を行うときの課題を「Let's try」として設けてある。 			

発行者番号	1 7	発行者名	教育出版株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> わかりやすい図解や資料性の高い写真が掲載され学習に関わる疑問が分かりやすい。 観察や実験の前に「課題」を提示し、内容に応じて「話し合おう」「考えよう」が設定されている。 学習内容が確実に習得できるよう重要語句が赤字になっていて注目しやすい。 「学んでいくこと」には小中の内容の一貫性をはかるため小学校との関連付けがある。 実験の準備物のチェック欄があり、確認しやすい。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習を広げ、深めるために、日常生活や応用問題に「活用しよう」が設定されている。 「新たな疑問から課題へ」の一連の探究活動の流れができています。 実験が比較的多く、実験により考えを深めることができる。考察が設定されており分かりやすい。 「ハローサイエンス」等で発展的な内容を多く設定している。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実験、観察の前に学習の課題が示されており、学習内容を深めることができる。 「考えよう」「話し合おう」「調べよう」が多数設定されており、考えを深めることができる。 防災に関しては、身近なこととして考えさせるきっかけづくりができています。 			

教科名（理科）

発行者番号	6 1	発行者名	株式会社 新興出版社啓林館
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中の連携を中心とした系統性があり、発展的な学習で興味が広がる。 ・ 多彩な実験方法が組み込まれ、まとめやふり返りも分かりやすい。 ・ 兵庫県を中心に近畿圏の写真を数多く作用している。 ・ 観察、実験においては、「目的」があり、課題を念頭において考えを深めることができる。 ・ 協働学習や個人で考を深める活動が多く設定されている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発展的な学習を数多く紹介し、個に応じた学習が進めやすい。 ・ 単元が色分けしてあり、関連づけが分かりやすい配列である。 ・ 「きみも科学者」や「サイエンス資料」を配置し、幅広い知識や教養に繋げられる。 ・ 実験の前に予想してみようがあり、積極的に取り組むことができる。実験結果をもとに練習問題を配列している。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然災害などに対する防災に関する安全と安心に根ざした科学の知識や技術を身につけ、活用することをふまえた内容である。 ・ 実社会・実生活との関連を図る内容が、数多く取り扱われ、身近な自然に興味関心をもつことができる。 ・ 理科が日常生活で使われている場面を紹介し、生涯意欲的に学ぶ動機づけとしている。 			

教科名（音楽《一般・器楽合奏》）

発行者番号	17	発行者名	教育出版株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲の解説が詳しく掲載されている。 ・ 創作のページが多く、箏による創作に取り組めるよう工夫されている。創作の内容やねらいが多岐にわたり難易度がやや高い構成である。 ・ 色彩が鮮やかで、写真が工夫されていて歌詞や楽曲をイメージしやすい。特に浜辺の歌は工夫され感受や日本の文化を深めることができる。 ・ 我が国の伝統や文化、郷土の音楽のページは多いが、兵庫県に関する掲載が少ない。 ・ 写真や挿絵が多用されているためイメージが偏りやすい。写真上の白抜き文字が判読しにくくユニバーサルデザイン化されていない。 ・ 糊付けの製本で本を開いても平らにならず、書き込みがやりにくい。折込のページや厚紙のページがあるが、すぐに折込のページが開くなど扱いにくい。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ソルフェージュや創作がまとめて配列されている。 ・ 音楽の教科書に掲載されているリコーダーの運指表や箏を弾いてみようの内容は器楽の内容である。 ・ 歌唱教材の楽曲数が少なく、歌唱曲の作曲者が偏っており扱いにくい。 ・ 滝廉太郎の作品配列が整理されておらず、同じ内容が多ページに配列されている。 ・ 音楽年表と日本と西洋音楽の歩みが別々に配列され、歴史と作曲者、作品を関連付けて理解しやすい配列になっていない。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>教育基本法、学習指導要領に示された目標は網羅されている。 県や地域に関連した資料が少ない。また、郷土の伝統音楽などを関連付けた指導がしにくい。</p>			

発行者番号	27	発行者名	株式会社 教育芸術社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文字、配色、レイアウトなどユニバーサルデザインに配慮されている。 ・ 学習の目標に沿ったわかりやすい解説と楽しみながら習得できる工夫がされている。 ・ 写真と挿絵が適切な配置で、イメージしやすく創造力や思考力を伸ばすことができる。 ・ 楽典の学習はゲーム感覚で楽しみながらでき、学習しやすい構成である。 ・ 創作の分野はクリエイトとマイメロディーに配列され、創造性の育成と旋律の創作に取り組みやすく構成され、個人活動とグループ活動に取り組みやすい構成になっている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生導入の楽曲は適正な音域に配慮され、感受の育成に適している。 ・ 様々な作曲家の楽曲が多く掲載され、多様な学習に取り組むことができる。 ・ 歌唱教材が質・量ともに豊富で成長過程や季節感を考慮して配列されている。 ・ 鑑賞教材の楽曲数が多く、多様なジャンルの楽曲が配列されている。 ・ 西洋と日本の音楽史を理解しやすい構成になっている。 ・ 楽器の解説がわかりやすく理解を深めることができる。 ・ 日本の伝統音楽の特徴を捉えやすい構成で、図式は知識・理解を深めることができる。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育基本法、学習指導要領に沿った内容で、示された目標は網羅されている。 ・ 県・市教育振興計画の目標を踏まえた内容となっている。 ・ 兵庫県に関する内容や写真が多く、ふるさとを愛することや丹波地域の伝統音楽などを関連付けて指導することができる。 			

教科名（美術）

発行者番号	9	発行者名	開隆堂出版株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の制作手順などが写真で示され「発想や構想」「創造的な技能」「鑑賞」の能力が高められるよう工夫されている。 ・教材ごとに大まかなねらいが示されているが、詳細には示されていない。巻末の資料も物足りなさを感じる。 ・各教材に「ふりかえり」のポイントが挙げられていることにより、生徒が確認できる所は利点である。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な事項が精選されていて、教材の選定・配列・構成が明確である。しかし、美術1における絵画・デザインの教材数が少なく、工芸や生活の中の美術に偏っている。 ・日本の工芸作品・古典作品、西洋の古典作品の掲載量が多く、他の分野の量に影響している。 ・2冊の分冊である。「美術1」「美術2・3」A4版。どうしても「美術2・3」は分厚く重く副読本（資料）のような体裁である。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨を十分に活かし編成されている。 ・防災に関する内容が1年生で取り上げられている。兵庫県の復興モニュメントについても取り上げられている。 ・日本の伝統的な古典・工芸や西洋の古典が取り上げられ、興味関心を持たせる内容になっている。 			

発行者番号	38	発行者名	光村図書出版株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の制作手順などが写真で示され「発想や構想」「創造的な技能」「鑑賞」の能力が高められるよう工夫されている。 ・美術文化の理解を深めるため、作品や作家の紹介が資料として取り上げられている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な事項が精選されていて、教材の選定・配列・構成が明確である。 ・教材ごとに明確なねらいが示されているが、教材数が少なく授業者の選択幅が限られてくる。巻末の資料は授業をする上で使いやすい。 ・版画の領域は、凸版のみが取り上げられている。 ・2冊の分冊である。「美術1」「美術2・3」A4版。どうしても「美術2・3」は分厚く重く副読本（資料）のような体裁である。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>学習指導要領の趣旨を十分に活かし編成されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災に関する内容は2、3年生で取り上げられているが量的には少ない。兵庫県については、ほとんど取り上げられていない。 ・日本の伝統的な古典・工芸や西洋の古典が多く、取り上げられ鑑賞領域は充実している。 			

教科名（美術）

発行者番号	1 1 6	発行者名	日本文教出版株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の制作手順などが写真で示され「発想や構想」「創造的な技能」「鑑賞」の能力が高められるよう工夫されている。 ・教材ごとに明確なねらいが示されており、巻末の資料も豊富である。 ・美術文化の理解を深めるため、作品や作家の紹介が資料として取り上げられている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な事項が網羅されていて、教材の選定・配列・構成が明確である。特に美術1における教材数が豊富であり、選択して実施できるように配慮してある。 ・発達段階を考慮して「美術2・3上」では、鑑賞領域や美術史を中心に編成され、「美術2・3下」においては、生活の中の美術に視点を置いた編成になっており、「美術1」は3ケ年を通して使用できる構成になっている。 ・3冊の分冊である。「美術1」「美術2・3上」「美術2・3下」A4版の横幅2cm大きい。3冊に分冊することで一冊ごとの軽量化が図られている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨を十分に活かし編成されている。 ・視点を換え見つめることにより、発想や表現の広がる題材が取り上げられている。また、ユニバーサルデザインなどの社会に目を向けた題材が取り上げられている。 ・日本の伝統的な美術が取り上げられ、興味関心を持たせる内容になっている。 ・阪神淡路大震災や東日本大震災など防災に関する内容も適切に配置され、兵庫県にゆかりの造形作品や作家の扱いが豊富である。 			

教科名（保健体育）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 確認の問題、活用の問題、学習のまとめがあり、どのような事を学習したのか分かる。 ・ フリガナが多く、漢字の苦手な生徒もスムーズに読める。 ・ 章末資料、問題で学習した内容がまとめやすい。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学年毎の配列が基準で、保健編と体育編で構成されている。 ・ 体育編が他社と比べて少ない。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然災害に備え、避難等たくさんの資料で分かりやすい。そこに、兵庫県の EARTH の写真もあり、身近に感じられる。 			

発行者番号	4	発行者名	大日本図書株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重要語句のフォントがはっきりして分かりやすい。 ・ 今日の学習課題がはっきり提示してあり、何を学ぶのか分かりやすい。課題解決学習が展開しやすい。 ・ 写真も全て同じ大きさではなく、大きさによりアピールしたいことが分かる。 ・ 説明文が分かりやすい。グラフと資料と説明文のレイアウトがよいので見やすい。 ・ 学習のまとめに重要な言葉がまとめてあり、分かりやすい。 ・ 情報機器の危険性についてふれている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育編と保健編に編集されている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自ら主体的に学びやすく、グラフや資料、説明文が配置されている。 ・ 口絵「生きがいのある豊かな未来へ」「自立して自分らしい生き方をするために」がキャリア教育につながっている。 ・ 自然災害で神戸の事が取り上げられ、身近に感じられる。 			

発行者番号	50	発行者名	株式会社 大修館書店
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 章末問題が載っている。 ・ 情報機器の危険性について触れている。 ・ 人々の健康に貢献した日本人の紹介が写真付きで紹介してある。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育編と保健編に編集されている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア教育を意識した口絵である。 			

教科名（保健体育）

発行者番号	224	発行者名	株式会社 学研教育みらい
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・章末問題があり、整理できる。 ・学習内容に関連した、偉人や名言が紹介されている。 ・グラフと資料と説明文のレイアウトがよく見やすい。 ・癌とアレルギーについて詳しく記載されている。 ・言語、協働とあり、協働学習に取り組みやすく、言語活動が充実する。 ・「探究しよう」で身近な事として振り返りができ、学習しやすい。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育編と保健編に編集されている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら主体的に学びやすく、グラフや資料、説明文が配置されている。 ・生活習慣や食育に関心がもてる口絵になっている。 			

教科名（技術・家庭＜技術分野＞）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍株式会社
<p>【教科書の特色】</p> <p>○AB版の大きさを採用し、図やイラスト、写真等が大きくて見やすくなっている。また、作業の流れを示す場合にも、横一段ですっきりと収まっているので大変見やすく分かりやすい。</p> <p>○学習項目ごとに、その領域で活躍している「技術の匠」を紹介し、日本の技術力の素晴らしさを伝え、生徒の興味・関心を引くような工夫がされている。</p> <p>○中学生のイラストやキャラクターたちが、学習のヒントやポイントを提示するような構成で、親しみやすくユニークな作りである。</p> <p>○実習を安全に行うための「安全」「衛生」マークや、「環境」「消費者」「伝統・文化」「防災」「情報モラル」といった、今日的課題を意識させるためのマークを設定し、学習者の注意をひくような工夫がなされている。</p> <p>○各見開きの右下に「パラパラ写真」を設け、学習への興味・関心を高める工夫をしている。また脚注には、「ひとくちQ&A」のコーナーを設け、豆知識を習得できるように工夫されている。</p> <p>○各領域の実習に関する「基礎技能」という項目を設け、道具や機械を使用した基礎的な技能をまとめて見やすくしている。</p> <p>○巻末に「防災手帳」掲載し、技術分野の学習を災害に生かすヒントが掲載されている。</p> <p>【内容の配列と分量】</p> <p>○技術分野で設定されている「A材料と加工に関する技術」「Bエネルギー変換に関する技術」「C生物育成に関する技術」「D情報に関する技術」の4つの領域に加え、教科書の最初にガイダンスを、最後に「技術分野の学習を終えて」を配置し、6つの学習内容と巻末資料で編集されている。</p> <p>○「A材料と加工に関する技術」は72頁にわたっている。設計と製作に46頁を使用し詳しく説明している。</p> <p>○「Bエネルギー変換に関する技術」は56頁にわたっている。製作品の構想と設計・製作に16頁を割き、色々な実習例を示している。</p> <p>○「C生物育成に関する技術」は44頁にわたっている。実習の内容が10頁にわたっているが、それぞれの手順が横一段でまとめられており、見やすい作りとなっている。</p> <p>○「D情報に関する技術」は64頁にわたっている。生徒に確実に伝えたい「情報モラル」や「情報セキュリティ」について、10頁を使用し分かりやすく説明している。</p> <p>○「技術分野の学習を終えて」は4頁にわたっている。技術分野の学習を将来に生かそう、これからも技術と関わっていこうという、2つの内容でまとめられている。</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>○巻末に、阪神淡路大震災、東日本大震災の取り組みを基に作成された防災手帳を掲載し、技術分野の学習を災害に生かすことを取り上げている。内容は「災害に備えるには」「住まいの防災」「災害と情報技術」の3つで構成され、3社のうち兵庫県に関する内容を取り上げているのは東京書籍のみである。</p>			

教科名（技術・家庭科〈技術分野〉）

発行者番号	6	発行者名	教育図書株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <p>○各領域のおわりに「まとめ」と「章末問題」を設けることで、学習のまとめができるように工夫されている。</p> <p>○巻末の「世界に誇る日本の技術」の頁では、伝統的な建築物をとりあげている。</p> <p>○実習題材について多くのページを割いており、写真を用いて作業の手順が分かりやすくまとめられている。さらに、実習工程を把握できるように頁上段に流れを示している。</p> <p>【内容の配列と分量】</p> <p>○技術分野で設定されている「A 材料と加工に関する技術」「B エネルギー変換に関する技術」「C 生物育成に関する技術」「D 情報に関する技術」の4つの領域に加え、教科書の最初に「序章」と称してガイダンスを配置し、5つの学習内容と巻末資料で編集されている。</p> <p>○「A 材料と加工に関する技術」は72頁にわたっている。前半に材料の性質と利用について掲載し、製品の設計に関する内容が後になっている。このうち製作実習について42頁を割いている。</p> <p>○「B エネルギー変換に関する技術」は52頁にわたっており、それぞれエネルギーを取り出す技術、電気エネルギーの利用、電気回路のはたらき、機械のしくみ、エネルギーの問題を解決する技術という5つの内容で構成されている。また、製作実習については10頁を割いている。</p> <p>○「C 生物育成に関する技術」は54頁で、このうち栽培実習の内容に27頁を割いている。</p> <p>○「D 情報に関する技術」は58頁にわたっている。デジタル作品の制作について多く掲載されているが、それに比べて情報セキュリティや情報モラルについての記載が少ない。</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>○序章で、「技術分野の学習とはどのようなことを学ぶのか」ということを、小学校までの学習や普段目にするもののある製品を引き合いに出しながら説明されている。</p> <p>○手順を詳しく記した実習例の頁が多く、全体的に資料集のような印象を受ける構成になっている。そのため、生活と技術に関する基礎的・基本的な知識や技能を身につけたり、自ら問題を見つけ、主体的に解決していく力はつきにくいと思われる。</p>			

教科名（技術・家庭科〈技術分野〉）

発行者番号	9	発行者名	開隆堂出版株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <p>○本文の記述が、基礎・基本と参考・発展等に明確に分かれており、生徒にとって分かりやすく使いやすい教科書になっている。</p> <p>○子どもたちのイラストが、学習のヒントやポイントを吹き出しで提示するような作りで、教科書を親しみやすくする工夫がなされている。</p> <p>○基礎的・基本的な内容の理解を助けるため図・イラスト・写真を多数掲載している。</p> <p>○「リンクマーク」を用いて他の内容や家庭分野とも関連づけて学習できるように工夫されている。</p> <p>○作業中の事故防止を重視し、ガイダンスでは見開きのページを、本文各所の作業場面には「安全マーク」をつけ、それぞれの作業に即した注意点が記載されている。</p> <p>○各見開きの右上には、それぞれの領域でかかわりの深い道具や工具、部品、電子機器のイラストが掲載されている。</p> <p>○各頁の脚注に「豆知識」を設け、知っておくと便利な情報や面白情報を掲載している。</p> <p>○各領域の終わりに「探究」という項目を設け、学習内容に興味を持つ生徒がさらに学びを深められるように工夫されている。</p> <p>○生活上において生じる課題に対して、自分なりに判断し、工夫・創造して課題を解決することができる問題解決能力を育めるように編集されている。</p> <p>【内容の配列と分量】</p> <p>○技術分野で設定されている「A 材料と加工に関する技術」「B エネルギー変換に関する技術」「C 生物育成に関する技術」「D 情報に関する技術」の4つの内容に加え、教科書の最初にガイダンスを、最後に「技術分野の出口」を配置し、6つの学習内容と巻末資料で編集されている。</p> <p>○「A 材料と加工に関する技術」は70頁にわたっている。設計に13頁、製作に31頁を割り、詳しく説明している。</p> <p>○「B エネルギー変換に関する技術」は44頁にわたっている。製作品の構想と設計・製作に8ページを割り、色々な実習例を示している。</p> <p>○「C 生物育成に関する技術」は40頁にわたっている。実習例が10例示され充実している。</p> <p>○「D 情報に関する技術」は68頁にわたっている。生徒に確実に伝えたい「情報モラル」や「情報セキュリティ」について、12頁を割いて分かりやすく説明している。</p> <p>○「技術分野の出口」は6頁にわたっている。技術を評価する視点、技術とわたしたちの未来、探究：持続可能な社会を築く、という3つの内容でまとめられている。</p> <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <p>○各学習項目の冒頭には「学習の目標」、学習の節目には「ふり返し」を設置し、反省や自己評価が行え、学習内容の定着が図れるように配慮されている。</p> <p>○環境に関する記述部分には、「環境マーク」をつけ、環境に関する意識を高め、循環型社会に対応していく態度が身につくよう配慮されている。</p>			

教科名（技術・家庭〈家庭分野〉）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真が鮮明で見やすい。 ○ 教科書が大きくなった分見やすくはなったが、重さや作業スペースを確保するのに課題はある。 ○ 内容ごとの学習のまとめが設けてあり、振り返りがしやすい。また、確認問題や重要語句もまとめてある。 ○ 衣生活の内容では、ミシンの使い方の説明が詳しくて分かりやすい。 ○ 限られたページにうまくまとめられている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領と違い、B:食生活と自立・C:衣生活・住生活と自立・A:家族・家庭と子どもの成長・D:身近な消費生活と環境の順) ○ D(身近な消費生活と環境)の内容が極端に少ない。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食に関する内容では、地域素材の取り扱いが少ない。 ○ 和服の文化についての記述が多い。 ○ 防災については豊富に取り扱われている。 			

発行者番号	6	発行者名	教育図書株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○登場するイラストのキャラクターが生徒の親しみやすいものになっている。 ○全体的に文字フォントや写真が小さくてわかりにくい。 ○振り返りのページは、問題のみでまとめがされていない。 ○限られたページにうまくまとめられていない。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領と一致している。(A:家族・家庭と子どもの成長・B:食生活と自立・C:衣生活・住生活と自立・D:身近な消費生活と環境の順) ○CとDの割合は多いが、題材の紹介に留まっている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防災については取り扱われているが豊富ではない。(他の内容とリンクしているのが少ない) ○地域素材が少ない。 			

教科名（技術・家庭〈家庭分野〉）

発行者番号	9	発行者名	開隆堂出版株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食生活の題材が豊富である。日本の食文化について具体例を挙げた説明が多い。（伝統食・おせち等） ○ 衣生活の手縫いの説明が分かりやすく、小学校の振り返りが充実している。 ○ 消費生活では、持続可能な社会を作るための工夫が随所に見られる。 ○ 兵庫県に関する内容が豊富である。（いかなご・たまねぎ等） ○ 内容ごとの学習のまとめが設けてあり、振り返りがしやすい。 ○ 限られたページにうまくまとめられている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領と一致している。（A:家族・家庭と子どもの成長・B:食生活と自立・C:衣生活・住生活と自立・D:身近な消費生活と環境の順） ○ A(3)とB(3)の分量が多く、実習例が多く紹介されている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 衣食住などに関する実践的・体験的な内容が多く盛り込まれている。 ○ どの内容においても、防災とリンクした題材が取り扱われている。 ○ 伝統文化や地域素材を活かして、生活を豊かにしようとする題材が多い。 ○ 防災については豊富に取り扱われている。 			

教科名（外国語〈英語〉）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書サイズが大きくなり、見やすくなった。絵や写真等の色使いもほどよく落ち着いている。 生徒の興味を引く話題や現在の社会を反映した話題が扱われており、考えさせられる内容が多い。 各学年にインタビュー活動やプレゼンテーション活動が配置され、情報発信の能力を育成できるようになっている。 各学年の巻末の語彙表や資料が豊富で、より幅広い知識と教養が身につけ、豊かな自己表現につなげることができる。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 入門期には、音声から文字への移行がスムーズにできるよう、工夫や配慮がされている。 基本文が見やすく習得しやすいレイアウトと内容になっている。 各ユニット、各パートの中に4技能がバランスよく取り入れられている。 「文法のまとめと練習」が簡潔で見やすく分かりやすい内容となっている。 会話文の学習では、より日常生活に即した場面や話題が取り上げられている。 単語や本文の分量が適度である。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> グローバルな視点から色々な国の話題を取り上げ、また国際社会の平和問題や地球環境問題を考えるのに適した題材が取り扱われている。 世界に日本のよさを発信できる生徒の育成をめざし、科学技術や伝統、文化、震災等に関する題材が豊富に取り上げられている。 生徒が自分の言葉で英語を使う場面が豊富に用意され、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成が図れるような内容となっている。 			

発行者番号	9	発行者名	開隆堂出版株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が興味関心を持つような話題・題材が取り上げられている。 カラフルで親しみやすい絵や写真が多く使われており、興味関心を持つことができる。 各Programに4技能を使う活動が取り入れられており、バランスのよい構成である。 巻末に「できることになったことリスト」が添付され、学習内容の習得状況が自己チェックできるように工夫されている。 基本文はBasic Dialogとなっており、対話文を重視している。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きの左のページにBasic Dialogと練習問題が、右のページに本文が記載されている。 本文の内容は生徒に身近な、興味の持てるものが選ばれている。 本文が長く、文章量が多いと感じる。 2年生で受動態が組み込まれているが、指導が難しいと感じる。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 兵庫県を取り扱う内容としては、3年生のProgram 2で「姫路城」が説明文で記載されている。 防災に関する内容としては、2年生のProgram 11で「白川郷の防火訓練」が説明文で記載されている。 			

教科名（外国語〈英語〉）

発行者番号	1 1	発行者名	学校図書株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年にインタビューやスピーチ等の表現活動が配置されている。 全体的にカラフル過ぎて、見づらい。 各ページの Target Sentence が小さく見づらい。 レイアウトがすっきりせず、どこにポイントがあるのか分かりづらい。 写真があまり洗練されていない感がある。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各レッスンに 4 技能習得のための活動が取り入れられている。 入門期に一般動詞から始まるのは、指導が難しいと感じる。 各ページの文法説明が簡単すぎて分かりにくい。 「Check It Out」文法のまとめはカラフル過ぎて逆に分かりづらい。 単語が各ページの下に横並びに書かれているのが見づらい。 色々な題材が取り上げられているが、生徒にとってあまり興味関心が感じられないものもある。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国の文化や福祉、世界遺産、偉人など、様々な視点の題材が用意されている。 「Word Tree」では、身近な英語表現や単語にたくさん触れられるよう、工夫されている。 日本の伝統や文化に関する題材が少ないように感じる。 			

発行者番号	1 5	発行者名	株式会社 三省堂
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味関心を呼び起こすようなタイムリーな話題・題材が取り上げられ、現在社会を深く考えることができる。 カラフル絵や写真が多く使われ、生徒にとって親しみやすい教科書である。 各 Lesson の各 Part に 4 技能を使う活動が多く取り入れられている。 中身の充実をめざし、教科書にたくさんのアクティビティーを記載されている。 各 Part に関連する語彙をまとめた WORD BANK が設けてあり、4 技能の活動が充実するように工夫してある。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の分量や語彙の量が比較的多く、教師にとっても生徒にとっても負担が大きくなる可能性がある。 アクティビティーやペアワークなど、本文以外の活動が多い。 様々な活動をさせるには必要最低限度の語彙が必要となるのだが、1 年生で使用されている単語はやや難しいように感じる。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 兵庫県を扱う内容としては、2 年生「道案内」で神戸空港～三宮までが登場している。 防災を扱う内容としては、2 年生の「Let's talk」で避難訓練の内容が記載されている。 グローバルな視点から、様々な国を取り上げ、英文の形式も対話・インタビューをはじめ、種類が豊富である。 			

教科名（外国語〈英語〉）

発行者番号	17	発行者名	教育出版株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年生では対話・インタビューが中心である。2年生では対話・インタビューを中心としながらも物語・スピーチ・説明文も取り入れられている。3年生では対話・インタビュー、スピーチ、説明文、物語がバランス良く取り入れられている。 基礎的・基本的な知識・技能の習得と、それらを活用して表現するためのTask（各Lessonに配置）やProjectなどの活動を通して、コミュニケーションの基礎を養うことができる構成となっている。 Plus Dialog、Plus Activityなどの活動を通して、基本文や語彙の定着をはかる別冊Essentialsがある。2冊に別れていることは、生徒にとって管理しにくいように思う。 絵や写真が多く取り入れられている。1年においては絵が中心で、やや単調である。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各單元において、「聞くこと」、「話すこと」、「書くこと」、「読むこと」の4技能を高める活動が設定されている。全体的に「読むこと」の活動が少ない。 1單元1文法事項が基本となっており、分かりやすい。 全体的に分量が多い。特に2年・3年においては、文字も小さく、分量も多く、読むのにしんどさを感じるのではないかと。 1年においてbe動詞の過去形が出てくることについては、生徒にとっては難しい。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学生の興味関心の高い話題・題材が取り上げられている。異文化や日本の伝統文化を尊重し、生命・環境・福祉・平和・人権を考える題材、英語で生徒が発信できる内容の話題・題材がある。 兵庫県にちなんだ「鉄腕アトム」、手塚治虫、神戸の中学生の震災についてのスピーチが取り入れられている。 			

発行者番号	38	発行者名	光村図書出版株式会社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然な英語に触れながら、生きた言葉の使い方が学べる。 道徳教育、人権教育、福祉教育、環境教育、キャリア教育、情報教育を配慮した中身の濃い内容となっている。 各單元に「聞くこと」「話すこと」「書くこと」「読むこと」の演習が用意されおり、バランスのとれた内容である。1年では対話・インタビューが中心である。 絵や写真が多く取り入れられている。1年生では絵が多い。やや絵が単調で、生徒の興味を呼び起こすにはやや難しい。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に従った配列ではある。1單元に主な文法事項が2項目入っていたり、2年に受け身が出てくるなど、生徒にとってはやや難しい。 全体的に文字、英文が多く、盛りだくさんである。文字も小さい。生徒が消化不良を起こす可能性がある。1年のLet's Read2において、ここまで1年生に理解を要求するのは難しいと思う。 教科書が分厚く、重く、重圧感があり、生徒にとってしんどさを感じるように思う。 Language Focus という文法事項をまとめたページが用意されている。文字が多く、やや難しいように感じる。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学校英語の学習を通して、グローバル時代を生きる生徒が英語でコミュニケーションの力をバランスよく養い、伸ばしていけるように、「英語の力も心も育つ教科書」に編集されている。 コミュニケーション能力を高めるために、4技能のバランスをよく考えて編集されている。 兵庫県に関する内容はない。 			